科目ナンバリング	U-LAS02 10007 LJ36				
授業科目名<英訳>	国語国文学Ⅰ Japanese Philology and Literature I		担当者所属職名・氏名	人間・環境学研究科 教授	佐野　宏
群	人文・社会科学科目群	分野(分類)	芸術・文学・言語(基礎)	使用言語	日本語
旧群	A群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	講義（対面授業科目）
開講年度・開講期	2026・前期	曜時限	火5	配当学年	全回生	対象学生	全学向

[授業の概要・目的]

日本文学における代表的な古典から、とくに萬葉集を講読する。萬葉集全二十巻を巻毎に取り上げつつ、和歌を抄出して講読している。各巻の概要や部立てのあり方、歌学における萬葉歌の享受史に触れながら、日本古典研究の基礎的な知識の習得を目的とする。ゆったりと萬葉歌の鑑賞を行う予定である。今期は巻15から16の作品を取り上げる。

[到達目標]

萬葉集についての基礎的な知識を習得し、和歌史研究のオーソドクスな観点と方法について説明できること。

[授業計画と内容]

1　萬葉集について
2　萬葉集の注釈書類概説
3　巻15・3723～中臣宅守の流刑の原因①
4　巻15・3723～中臣宅守の流刑の原因②
5　生別と死別の境界①――死ぬことと逢えぬこと
6　生別と死別の境界②――知らされぬ死
7　「挽歌」の変容と文芸意識①
8　「挽歌」の変容と文芸意識①
9　防人歌のこと――防人は還ったか
10　行路死人歌のこと
11　巻15　狭野茅上娘子の歌から始まる意味――遣新羅使人歌群との重なり
12　巻15の文芸意識①
13　巻15の文芸意識②
14　まとめ
15　フィードバックと補足

[履修要件]

特になし

[成績評価の方法・観点]

講義内容を踏まえた基礎的な事項の確認試験を行う（60%）。時折、講義中に小テストを行うほか、授業への積極的な参加度（40%）を総合的に加味して評価する。

国語国文学Ⅰ(2)へ続く↓↓↓

国語国文学Ⅰ(2)

[教科書]

井手至、毛利正守 『新校注　萬葉集』（和泉書院）ISBN:978-4757604902
坂本信幸、毛利正守 『萬葉事始』（和泉書院）ISBN:978-4-87088-728-2
受講者が上記のテキストを持参しているものとして講義を行う。

[参考書等]

（参考書）
小島憲之他 『新編日本古典文学全集　萬葉集　』（小学館）ISBN:978-4096580066
佐竹昭広他 『新日本古典文学大系　萬葉集』（岩波書店）

[授業外学修（予習・復習）等]

プリントを配付するが具体的な語釈や文法事項については、各自で注釈書類、参考文献を一読しておくこと。

[その他（オフィスアワー等）]

木曜日４限をオフィスアワーとする。会議等で不在の場合があるので、必ず事前に確認をすること。

[主要授業科目（学部・学科名）]